

ポストゲノム解析用マイクロHPLCを開発 株式会社京都モノテック

開発の経緯

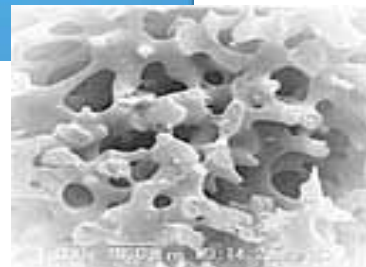
- バイオ関連の試験など試料が微量しかない場合や、試液を製造するために多大なコストがかかる場合、少ない試料での分析が必要となります。
- 本事業により、カラムを用いたたんぱく質の分離装置を開発しました。



製品の特長

<製品名:マイクロHPLC>

- 分析対象となる試料を、カラムを入れたガラスキャピラリーに通すと、成分ごとに分離することができ、質量分析計にて、より詳細な分析を行うことが可能となります。
- カラムを利用することで必要となる試液の量が非常に少なくなります(従来の1万分の1程度)。



導入事例

- 本製品は、経済産業省が推進する地域新生コンソーシアム研究開発事業にて開発し、コンソーシアムには、ユーザーとなる大学がメンバーとして参加しました。そのため、ユーザーのニーズを反映した製品を開発導入することができました。
- 今後は、質量分析計に開発した製品や材料を組み入れることで、デファクトスタンダードの獲得を狙い、製薬会社などへの普及を図ります。

会社情報

企業名:株式会社京都モノテック

住所:京都市北区大宮釈迦谷3番地の59

電話:075-950-6161

資本金:2,000万円

事業概要:分離材料の研究開発・製造

代表者:水口博義

URL:<http://www.k-monotech.co.jp/>

設立:平成13年1月

従業員数:8名

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:地域新生コンソーシアム研究開発事業に係る委託費(平成14年度)

交付機関:経済産業省 <http://www.meti.go.jp/>

採択テーマ:ポストゲノム解析用マイクロHPLCの開発